

平成19年北秋田市議会12月定例会行政報告

北秋田市議会12月定例会が開催されるにあたり、8月31日以降の主な事項及び今後予定している事項について報告いたします。

市長部局

総務部

総務課関係

9月16日、平成19年度職員採用第1次試験（県の統一試験）が実施され、本市関係では、一般上級職29名、一般初級職12名、初級消防吏員13名がそれぞれ受験しました。

第1次試験合格者を10月19日告示し、これに伴い、11月9日に初級消防吏員、11月10日に初級・上級一般職の第2次試験を実施しました。

第2次試験の合格者は、採用候補者名簿に登載され、その中から20年4月1日付けで採用されることとなります。

企画部

総合政策課関係

機構改革については、平成22年度を最終年度として段階的に組織を見直しており、来年4月には、現在の総合支所方式から本所と支所の機能を統合する集中管理方式へ移行する予定でしたが、先般発生した豪雨災害を受け、今後、災害時と緊急対応に対する検討が必要となったことから、来年4月には大幅な機構改革は行わず、必要な事務事業について見直す方向で検討しております。

秋田内陸線関係については、先般発生した豪雨のため、9月17日の夕刻から18日まで運行中止となりました。また、この影響により、上桧木内駅構内では上下線各1本が立ち往生し、車内に18名が足止めされましたが、二次災害や傷病者の発生はありませんでした。

本年度からスタートした「市民提案型まちづくり事業補助金」は、追加公募により2件の応募がありました。申請団体の公開プレゼンテーションを9月27日に実施し、評価市民委員会の審査評価に基づき2件とも補助対象事業と決定しました。

10月6日、東京都大手町のサンケイプラザを会場に開催された、「ふるさと回帰フェア2007」において、自治体相談コーナーを出展しました。また、田舎暮らしを希望する方々の生の声を聞き取るとともに、市の交流施策のPRに努めました。

10月21日、第20回東京鷹巣会（会長・菊地靖孝）総会・懇親会が東京九段下「ホテルグランドパレス」で会員及び来賓など約180名が参加し開催されました。市からは、市長をはじめ、吉岡議長、商工会、物産協会などから13名が出席しました。懇親会では、きりたんぼなど郷土料理や地酒などがふるまわれ、なつかしいふるさとの味や話題で大いに盛り上がりました。また、会場内では物産協会による特産品の販売が行われ、ふるさとの味を買い求める会員が相次ぎ盛況のうちに閉会しました。

10月28日、第21回東京ふるさと森吉会（会長 松岡利男）総会・交流会が約140名の会員が参加のもと、千代田区「アルカディア市ヶ谷」で開催され、市からは森吉支所長、庄司副議長、近藤県議会議員、松橋久太郎元町長らが出席しました。交流会の席上、東京ふるさと森吉会から、9月17日の豪雨災害に対する見舞金が森吉支所長へ贈呈されました。また、会場内では、北秋田市観光公社による特産品の販売が行われ、ふるさとの味を求めて、たくさんの方が購入されていました。

<広報情報課関係>

11月8日、「平成19年度秋田県統計功労者表彰式」が秋田県庁において開催され、当市関係では、厚生労働大臣表彰に1事業所、経済産業省調査統計部長感謝状3名、秋田県知事表彰6名の皆さんが、長年にわたる統計調査への功労によりそれぞれ受賞の栄誉に輝きました。

電算システム課関係

5月に発覚した個人情報漏えい問題については、NEC秋田支店に対し、事後処理に要した経費として、職員の時間外勤務相当額、チラシの印刷代及び市外転出者への説明文書の郵送料として1,850,096円を請求し、9月28日に全額納入されました。これに伴い、NEC秋田支店と事後処理を終結する旨の確認書を取り交わしましたが、漏えいした個人情報に起因して新たな被害や問題が発生した場合はNECが誠意を持って対応することを確認しております。

財政課関係

平成19年8月13日以降の工事関係の契約状況（500万円以上）は下記のとおりとなっております。

工事等発注一覧表			
500万円以上（消費税含む）			
平成19年8月13日～平成19年11月16日			
工事名（業務名）	契約年月日	契約額 （千円）	請負業者名
あいかわ保育園電気設備災害復旧工事	H19.9.25	8,909	（有）北秋電気工事商会
あいかわ保育園機械設備災害復旧工事	H19.9.25	27,825	山二施設工業（株）
福祉事務所 2件	/	36,734	
村づくり交付金（農業集落排水単独事業） 道城地区 全体実施設計業務委託	H19.8.22	17,325	秋田県土地改良事業団体連合会
面整備工事（鷹巣処理区 その4）	H19.8.23	61,845	（有）丸栄建設
面整備工事（阿仁合処理区 その2）	H19.8.24	24,622	（株）松岡組
面整備工事（鷹巣処理区 その5）	H19.8.27	51,870	（株）津谷組

工 事 名 (業務名)	契約年月日	契 約 額 (千円)	請 負 業 者 名
雨水管渠清掃業務委託	H19.9.6	7,350	山岡工業(株)
鎌沢地区管路補修工事(第00191号工事)	H19.9.7	14,910	(株)伊勢組
舗装復旧工事(鷹巣処理区 その2)	H19.9.7	19,110	(有)丸栄建設
舗装復旧工事(阿仁合処理区)	H19.9.7	24,885	(株)松岡組
松ヶ丘・下杉団地水洗化工事(第1工区)	H19.9.7	6,006	(有)工藤設備工業所
管渠詳細設計業務委託(鷹巣処理区)	H19.9.20	9,240	創和技術(株)北秋田事務所
面整備工事(鷹巣処理区その6)	H19.9.21	15,802	(有)松尾土木
面整備工事(鷹巣処理区その7)	H19.9.21	61,845	朝日建設(株)
スパロータ点検整備(修繕)1-2系	H19.9.25	9,030	(株)前澤エンジニアリングサービス 東北営業所
村づくり交付金 <農業集落排水単独事業> 道城地区第04201号工事	H19.10.15	40,635	(株)佐藤庫組
村づくり交付金 <農業集落排水単独事業> 道城地区第04202号工事	H19.10.15	10,972	(有)宗和
道整備交付金事業(市道大野台幹線) 舗装新設工事(1工区)	H19.10.22	96,600	秋田土建(株)
道整備交付金事業(市道大野台幹線) 舗装新設工事(2工区)	H19.10.23	91,980	(株)佐藤庫組
建設部 17件		564,027	
市有林整備(間伐)事業業務委託 (その1)	H19.9.20	5,922	大館北秋田森林組合
産業部 1件		5,922	

工 事 名 (業務名)	契約年月日	契 約 額 (千円)	請 負 業 者 名
鷹巣体育館場内整備工事	H19.8.24	9,397	佐藤建設(株)北秋田営業所
北秋田市民プール運営業務委託	H19.9.25	6,876	(有)シバタ
合川中学校FF暖房機復旧工事	H19.11.5	6,388	(有)小塚電気商会
教育委員会 3件		22,661	
市道大町七曲線側溝改良工事	H19.9.10	6,184	吉満組(有)
合川地区統合簡易水道施設整備事業 高区配水管布設工事(1工区)	H19.9.21	17,734	(有)工藤設備工業所
合川地区統合簡易水道施設整備事業 高区配水管布設工事(2工区)	H19.9.21	17,325	(有)宗和
水道施設災害復旧調査設計業務委託	H19.10.24	6,615	(株)三木設計事務所 北秋田営業所
森吉支所 4件		47,858	
平成19年度村づくり交付金(合川地区) 第01202号工事	H19.9.21	6,615	(有)合川水道施設工業所
平成19年度 村づくり交付金 (合川地区) 第01201号工事	H19.9.25	7,612	(株)佐藤庫組
合川支所 2件		14,227	
合 計 29 件		691,429	

市民生活部

市民課関係

平成19年10月末日現在の住民登録者数は、39,293人でその内訳は、男18,555人、女20,738人、世帯数は14,781世帯となっております。

保険課関係

高齢者の医療の確保に関する法律（平成18年老人保健法を改正）によって、保険者は平成20年度から5年ごとの計画を立てて生活習慣病等の予防にあたることとされており、当市では今年9月、特定健康診査等実施計画を策定し、新年度に向けた関係各課等で取り組みを図っております。

医療推進課関係

市民病院建設に向けて、二次造成工事が12月20日までを工期に着々と進められております。

10月4日・11月6日の入札会において、建築、電気、機械の全ての業者が決まりました。工事関係者合同によるミーティングを11月16日に行い、平成21年10月の開院に向け病院建設がスタートいたしました。

国民健康保険合川診療所関係

10月末日現在の運営状況は、患者延数（外来）が8,492人で、前年同期比較103人（1.2%）であります。診療日数が155日（5日）で、1日平均は51.3人（1.1人増）となっております。これに伴う8月末までの診療収入は、79,106千円で、前年同期比較5,125千円（6.1%増）となっております。

阿仁病院関係

上半期の運営状況は、常勤医師の法定必要数不足に伴い5月から入院病棟を休床しており、入院患者延数（4月のみ）は314人で、1日平均10.5人となっております。外来患者数は、16,902人で前年同期と比較して1,106人の減で1日平均では123.4人（6.2人）となっております。各科の状況は内科8,114人（128人）、外科6,414人（593人）、歯科2,374人（385人）となっております。

事業収益については、300,785千円（46,076千円）、事業費用255,613千円（77,528千円）で、上半期純利益は45,172千円となり、前年度末処理欠損金402,309千円を加えた上半期末処理欠損金は357,137千円となっております。

保健センター関係

成人検診事業については、集団検診が終了し、その受診状況は基本健康診査 3,859 人、(生活機能評価 2,763 人)、胸部総合検診 4,153 人、喀痰検査 89 人、大腸がん検診 3,648 人、前立腺がん検診 1,184 人、胃がん検診 2,231 人、子宮頸がん・卵巣腫瘍検診 627 人、乳がん検診 529 人、骨粗しょう症検診 419 人、肝炎ウイルス検診 185 人となっております。

また、65 歳以上の介護予防健診から、特定高齢者となった方を対象に運動機能向上・口腔機能向上・栄養改善・閉じこもり予防等介護予防事業を実施しており、71 人の参加がありました。

市民の健康づくり事業の一環であるウォーキングについては、市内 4 地区で開催し、延参加者は 695 人で、その中で全てに参加した「完歩者」は 91 人となっております。

11 月 11 日、「健康・スポーツフェスタ 2007」が鷹巣体育館を主会場に開催され、約 300 人の市民の参加がありました。

自殺予防事業として取り組んでいる「心の健康講座」は、4 回シリーズの第 3 回目まで終了し、延べ 368 人の参加を得ています。

肺炎球菌ワクチンは、10 月末現在で 92 人の方が予防接種を受けております。

母子保健事業については、幼少期からの正しい食習慣形成と家庭の食生活を中心とした生活全般の振り返りとなるよう食育学習会を開催し、「味な親子・探健隊」には 164 人、「世代交流料理教室」には 106 人が参加しております。

また、育児不安の解消や情報交換、地域の仲間づくりの場として、毎月各地区で実施する親子教室、年 2 回の合同親子教室をそれぞれ開催し、62 組の親子が参加しております。

生活環境課関係

9 月 21 日、本庁舎前駐車場と森吉支所前で、北秋田警察署をはじめ、交通安全協会、その他関係機関と合同で、秋の全国交通安全運動の総決起集会及び合同出発式と交通安全パレードを実施しました。今後も関係団体と連携し交通安全意識の高揚に努めてまいります。

10 月 13 日、北秋田警察署と合同で地域安全ネットワークのリーダー研修会を鷹巣体育館で開催しました。自治会代表者、防犯関係団体約 200 人が参加し、犯罪傾向等の講義、活動団体の事例発表等の研修を受けております。

9 月 17 日の豪雨により発生した水害廃棄物の処理については、当初、10 月末までをめどに、随時長下処分場と鷹巣埋立地に搬入し処理する予定でしたが、未だに回収依頼の要望が多いことから、11 月末までは市が回収することとしております。その発生量は 4,000 トンを上回るものと推測され、今回の受け入れ

に伴い、長下処分場の残余容量が大幅に少なくなったため、現在は鷹巣埋立地に搬入しております。

秋のクリーンアップは、「秋田わか杉国体」に向けた美しい街作りのPRのために、例年の10月実施よりも前倒し、9月23日に実施しております。9月17日豪雨災害後にもかかわらず、約5,100人の市民の参加いただき、ポイ捨てごみ等の回収作業に協力をいただきました。

中間処理の効率化を図るため、プラスチック製容器包装の圧縮梱包機をクリーンリサイクルセンターに整備しました。これにより、さらに質の高い資源ごみの再資源化が可能となっております。

福祉事務所

福祉課関係

11月1日現在の生活保護世帯数は、328世帯、440人となっております。

中央公民館分館の老朽化等により移転を進めていた「もろびこども園」は、11月5日から旧鷹巣北幼稚園を新園舎として業務を開始しました。関係機関・団体や、地域との一層の連携を図り、事業の円滑な実施に努めてまいります。

9月17日の豪雨により床上浸水した合川保育園の災害復旧事業は、保育園建設時の施工業者の早期対応により、保育園運営における最低のライフラインが確保され9月25日から通常保育を実施しております。備品の入れ替えや修繕などを含む災害復旧工事は床下の消毒作業などを最後に、11月末で完了となります。

11月13日には、東北厚生局と東北財務局の災害査定を受け被害概況を説明しております。

保育業務については、9月18日と19日を休園とし、保護者からの要望を受け、20日から22日までは希望保育として、合川保健センターと合川農村環境改善センターの一部で、3歳未満児と以上児に分けて保育を実施しました。今後とも衛生面や安全面に配慮しながら園舎内外の施設点検を行ってまいります。

北秋田市コウノトリ委員会では、気軽に集える「出会いの広場」を8月は北欧の杜公園で、10月は北秋田市中央公民館において開催しました。それぞれ50人余りの参加を得、数組のカップルが誕生しております。12月には大館能代空港ビルを借り切って第3回「出会いの広場」を予定しております。

高齢者支援課関係

平成 19 年度の敬老式は、9 月の老人月間中に 4 地区 10 会場において開催しました。本年は、75 歳以上の対象者 7,499 人のうち、入所施設において参加した方も含め 3,057 人が参加し、参加率は 40.8%となっています。

敬老事業としての金婚・ダイヤモンド婚のお祝いは、今年度から対象者の申請に基づいて実施しており、11 月 14 日現在、金婚 45 組、ダイヤモンド婚 14 組に市からお祝い書状を贈りました。

介護予防事業として、「げんきワールド」を拠点に実施している市民介護予防講座は、毎回テーマを設けながら月 2 回の割合で開催しており、現在まで 47 名が参加しております。今後も引き続き開催の予定で、多くの方々に参加していただくよう、周知を図ってまいります。

介護保険については、10 月末現在の認定者数は 2,597 人となっており、そのうち介護サービス利用者数が 2,042 人で、受給率は 78.6%となっております。

地域包括支援センター関係

地域支援事業として、要支援、要介護状態に近いと認められる高齢者に対し、自分らしい自立した生活が送れるよう保健センターと連携を図り、運動器の機能向上などの介護予防事業を提供しておりますが、10 月末現在の該当者は 350 人で、そのうち 75 人がサービスを利用しております。

また、総合的な相談、支援、権利擁護等の包括的支援事業においては、電話や来所、訪問等による相談件数は、10 月末現在、延べ 1,337 件で、うち虐待や困難事例を含む権利擁護も 196 件含まれており、それぞれの事例に応じて対処しております。

要支援 1・2 の認定者を対象とした新予防給付（介護予防支援事業）における 10 月末のサービス利用者は 333 人となっております。

産 業 部

農林課関係

今年の水稲は、6 月から 7 月上旬の気象が高温多照で、気温日格差も確保されたことにより生育もおおむね順調でしたが、収穫を目前に 9 月 16 日から 18 日にかけての記録的集中豪雨による河川の氾濫、冠水・土砂流入等により甚大な被害を被りました。大雨による農地の冠水面積は、2,125ha、被害額は農作物等で約 590,000 千円、農地・農業用施設 2,063,000 千円、林道等 83,000 千円と

なっており、被災農家への種子・比内地鶏の素雛購入等支援事業による農家負担の軽減、農地や農業・林道施設等の復旧に向け、関係機関と連携を図りながら進めてまいります。

被害農家に対する各種支援策等の説明会を、11月9日の合川地区から順次開催し、11月末までに森吉地区、阿仁地区でそれぞれ開催する予定であります。

東北農政局秋田農政事務所の発表による10月15日現在の作況は、秋田県が102、県北は、大雨による影響もあり98となっております。

米の出荷状況は、出荷契約数量15,314トンに対し、10月末現在で12,892トン、1等米比率は93.8%で、カメムシ被害のほかに水害のため光沢不足による品質低下も見られます。

米の生産調整については、生産調整目標面積1,711haに対して、実施確認面積1,762haで103.0%の達成率となっております。

主要作物については、夏秋キュウリが出荷数量763トン(前年対比95.5%)、販売額152,476千円(前年対比102.2%)、トマトは、出荷数量64トン(前年対比87.7%)、販売額17,131千円(前年対比77.9%)、シシトウは、出荷数量30トン(前年対比96.8%)、販売額26,000千円(前年対比92.1%)となっております。また、山の芋は10月23日頃から収穫作業が始まり、出荷作業は11月いっぱい続く見込みであります。

畜産については、市営牧場への放牧は11月3日(土)、高津森牧場を最後に終了しており、3牧場へ放牧した農家数は49戸、実頭数203頭、延べ頭数23,702頭となっております。また、比内地鶏は10月末現在、出荷羽数39,970羽(前年対比56.1%)、販売額75,223千円(前年対比66.1%)で前年を大きく下回っており、比内地鶏製品製造施設等が浸水被害のため、使用できなかったことが大きな要因であります。

全国植樹祭については、開催日が平成20年6月15日(日)に決定されております。

商工観光課関係

9.17豪雨災害は、観光施設や土木・農業施設に甚大な被害をもたらし、営業休止を余儀なくされる施設も多く発生しました。その後の本格的な秋の行楽シーズン前に、ほとんどの道路が部分開通するなど、観光施設も営業をほぼ再開しました。しかし、まだ完全復旧にはほど遠く、今後の本格的な対策が求められています。

9月21日に「企業立地促進法」に基づき、近隣6市4町1村と県による「資源リサイクル・医療関連地域産業活性化協議会」及び5市3町1村と県による「木材関連地域産業活性化協議会」がそれぞれ設立されました。

10月22日、北秋田市うめーもん創作協議会による「比内地鶏の美味(うまい店)」旗揚げ式が開催され、比内地鶏メニューを提供する24業者25店の経営者らが、ロゴ入り幟を手に、氣勢を挙げました。大館市の比内地鶏食品加工業者による偽装事件などの逆風の中で、本当においしいものを提供すれば、お客さんに来てもらえるとの信念でがんばっております。

10月25日、都内において秋田県企業誘致推進協議会主催の「あきたリッチセミナー in T O K Y O」が開催され、県内自治体に対し新規に面談を希望する企業が集まり、情報交換を行いました。

6月2日から始まった、阿仁スキー場の「ゴンドラで行く森吉山紀行」、「花の百名山」や紅葉シーズンに全国から前年を上回る、19,419人の観光客が訪れました。

第2回北秋田市産業祭が10月27日・28日の2日間、鷹巣体育館を主会場に開催されました。市内の農・工・商・学全般にわたる展示や特産物の販売が行われました。

10月29日、経済産業省において経済産業大臣から市長へ「資源リサイクル・医療関連産業基本計画」及び「木材関連産業基本計画」の協議に対する同意書が交付されました。計画に盛り込まれた産業の集積を図ることにより、地域活性化と当該産業の育成を図ろうとするものです。

まちの賑わいづくり事業の一環として商店街の活性化を図るため、第1回北秋田市軽トラック市およびフリーマーケットが鷹巣駅前通りを歩行者天国にして開催され、地域農産物を多くの人買い求めました。また、商店街の空き店舗にシャッターペイントを実施して、商店街の環境美化の向上を図りました。

建設部

都市計画課関係

先の水害で被災した都市公園2箇所(米代川河川緑地・阿仁カントリーパーク)の復旧については、災害実地査定が11月下旬となったことから、雪解けを待って本工事に着手する予定です。また、都市公園以外の公園3箇所(森吉地区内)については、早期に地域住民の利用に供すべく、関係機関と協議しながら復旧に努めております。

市営住宅においては、明田団地19戸に床下浸水被害がありましたが、幸いにも大事に至らず消毒防疫を済ませ引き続き入居しております。

市営住宅に仮住まいを希望した被災避難者に対しては、緊急性等を鑑み、3ヶ月を限度に無償貸付(行政財産の目的外使用許可)を行い、これまで7世帯

が入居しております。なお、期間満了後も引き続き入居を希望する方には、公営住宅法等の規定に基づき対応いたします。

11月上旬に「北秋田市住生活基本計画」の策定を終えたことから、今後の市営住宅の整備・改善等、住宅行政に適正に反映してまいります。

市営住宅松ヶ丘団地及び下杉団地の水洗化工事は順調に進捗し、10月上旬から供用を開始しております。また市火災予防条例の改正に伴う住宅火災警報器の設置工事は、145戸（14団地）を11月中旬に発注いたしました。シロアリ食害に係る住宅床下の修繕及び駆除業務については、12月上旬の完了を目指して作業を進めております。

建設課関係

地方道路整備臨時交付金事業の平里橋上部工については、12月中、道路工については年度内に完成予定であります。また、道整備交付金事業大野台幹線の道路改良工事の全体進捗率は約80%となっております。

単独事業の七日市松沢線（妹尾館地区）道路改良工事の進捗率は約85%、また、小様三枚線の進捗率は約75%となっております。

9月15日～18日の豪雨により発生した災害については、道路災害61箇所、河川災害18箇所、橋梁1箇所の計80箇所の災害実地査定を10月30日及び、11月12日～16日までの日程で41箇所の査定を終了し、残り39箇所の査定は11月20日～21日及び11月26日～30日の日程で終了する予定であります。採択された箇所については、早期復旧に努めてまいります。

下水道課関係

公共下水道事業における工事の発注状況については、鷹巣処理区において、太田地内及び中綱地内の面整備工事2件、掛泥地内の舗装復旧工事1件を、阿仁合処理区において、阿仁吉田地内及び阿仁荒瀬地内の舗装復旧工事1件、阿仁水無地内の面整備工事1件をそれぞれ発注しております。また、設計調査業務委託については、鷹巣処理区において、脇神字平崎上岱地内の詳細設計及び地質調査業務をそれぞれ発注しております。

農業集落排水事業における工事の発注状況については、道城地区において管路布設工事3件を、鎌沢地区においては、管路補修工事1件を、坊沢地区においては、マンホール調整工事1件をそれぞれ発注しております。

先の水害により被災した公共下水道の合川浄化センターについては、災害実地査定が11月21日から22日の日程で終了いたしました。また、農業集落排水処理施設は、前田地区ほか8地区において被害を受け、木戸石地区においては

11月12日に災害実地査定が終了し、前田地区、浦田地区、西地区については、11月26日から30日の日程で災害実地査定が終了する予定であります。また、補助災害の採択要件に満たない地区については市単独復旧事業として実施する予定であります。採択された地区については、早期復旧に努めてまいります。

水道課

上水道事業については、鷹巣浄水場耐震診断及び改修設計業務委託を発注しております。

簡易水道事業は、合川・森吉地区統合簡易水道施設整備事業の、合川高区配水管布設工事（250mm L=1,270m）を発注しております。

また、9・17の豪雨災害で取水施設（ポンプ場）9箇所が水没し、国の災害復旧査定に向けて事務作業を進めております。

消防本部

常備消防関係

8月から10月までの火災、救急等については、建物火災2件、その他火災が1件で、損害額は4,173千円となっており昨年同期と比較し、件数では3件、損害額では8,805千円のそれぞれ減となっております。

救急出場は337件で昨年同期と比べ12件の減で、搬送人員は323名となっております。事故種別では急病が224件で昨年同期と比べ4件の減、一般負傷が39件で同13件の減、転院搬送が29件で同8件の減、交通事故が26件で同3件の増などとなっております。救助出勤件数は19件で6名を救出しておりますが、この中には9・17豪雨災害による4名が含まれております。

捜索については2件発生し、9・17豪雨の際行方不明となった1名の方は未だ発見に至っておりません。鷹巣地区で発生したキノコ採りの行方不明者は翌日捜索隊により無事発見されております。

10月23日、9・17豪雨により冠水した道路で走行不能になった車両から乗員を救助した功績で、李岱字羽立・藤岡久さんを市長表彰しております。

職員研修については、東京都内の救急救命士養成研修所で9月13日から来年3月24日までの日程で1名が研修中です。

非常備消防関係

9.17 豪雨災害に際しては、各支団が河川警戒、冠水地域の避難誘導等に出動し、また、行方不明者の搜索活動等を行っております。

秋の火災予防運動初日の11月4日、消防団各支団がそれぞれの地区で放水訓練、中継訓練の実施とともに、火災防止及び住宅用火災警報器設置促進に関するチラシ配布を行っております。

教育委員会

総務課関係

9月17日の集中豪雨により、床上浸水の被害を受けた合川中学校は、被災した設備の復旧がおおむね終了し、学校生活や授業が平常どおりに行われております。

山村留学センターでは、11月17日に収穫祭が行われ、留学生や地域の方、そして卒園生も多数参加し今年の豊作を喜び合いました。また、留学生からはこれまでの自主研究や畑作体験の発表も行われました。

義務教育課関係

9月29日から始まった秋田わか杉国体では、市内の小中学生が各地区で開催された競技に役員・応援員として参加協力し、大会を通じて大きな感動と喜びを得ることができました。

各小・中学校では学習発表会や文化祭が開催され、10月20日には「市理科研究発表会・社会科発表会」が行われるなど、文化の秋にふさわしい活動が各地で催されました。

教育委員の学校訪問を10月23日から11月8日までの8日間、小・中・高等学校22校において実施し、学校経営や児童生徒の学習状況、生徒指導上の課題等について意見交換を行っております。

今年度も「みんなの登校日」後期日程が、10月21日から12月7日まで地域の方々との交流を交えながら各小・中学校で行われています。

来年度小学校入学予定者の就学児童健康診断は10月、11月に実施（対象者252名）しています。

小・中学校は12月26日から冬期休業が始まりますが交通事故防止等について指導の周知徹底を図ってまいります。

高校教育課関係

9月21・22日の2日間、9・17豪雨災害による被災地域に対し1年生全員や野球部員、フェンシング部員が復旧作業のボランティア活動に取り組みました。

10月27・28日、合高祭が行われ、27日の前夜祭では合高万灯火を多くの地域市民に披露しました。

北秋田市教育委員会の学校訪問が11月1日に、秋田県教育委員会の指導主事要請訪問が11月9日に実施されました。授業内容はもちろん、指導者の取り組み方、生徒への接し方、学校運営の状況などについて意見交換を行いました。

11月13日から17日までの日程で、2年生の修学旅行（京都・大阪・神戸方面）が実施されました。

11月26日、秋田内陸線を利用した芸術教室が田沢湖芸術村を会場に実施されました。

<スポーツ振興課関係>

第2回スポーツレクリエーション大会が8月から10月にかけて市内各会場で開催されました。昨年からはまったこの大会は、秋田わか杉国体が開催されたことでその期間をはずして開催され、ゲートボール、8人制バレーボール、ユニカールなど18競技に選手役員およそ1,500人が参加し交流や親睦を深めました。

地方街路工事（太田川口線）の用地買収に伴う旧鷹巣プールの解体工事は8月3日から9月7日の工期で行われ、引き続きアスファルト舗装などの場内整備（外構）工事を行い、9月21日に完成しました。この一連の工事によって、大会規模によっては不足気味であった体育館の駐車スペースが50台分増加し、最大で160台が駐車可能となりました。

<生涯学習課関係>

鷹巣図書館の読書推進事業の一環として、10月12日から4日間、8回にわたり図書館体験デーを開催しました。対象は鷹巣地区7つの幼稚園・保育園の年長児132名で、幼児期から図書館や本に親しんでもらうことをねらいとして実施したもので、図書館ボランティア「たまたまばこ」によるおはなし会や、絵本の借り方や返し方について学習しました。

平成19年度北秋田市文化祭は、11月2日から4日までの3日間、展示部門は阿仁公民館と阿仁山村開発センターにおいて、演示部門は北秋田市文化会館において開催されました。開会行事の中で、芸術文化活動に貢献された3名の

方々に北秋田市芸術文化功労賞を、優れた作品を発表された3名の方々に北秋田市芸術文化奨励賞をそれぞれ授与しました。さらに旧森吉町当時に作られ未発表となっていた「奥森吉賛歌」を関係者の協力を得て発表しました。文化祭で発表された作品や芸能等は内容も一段と充実しており、連日多くの市民が鑑賞に訪れました。

11月10日、第2回浜辺の歌音楽祭が北秋田市文化会館で開催されました。保育園児・小中学生・一般から22団体が参加して、地元の偉大な作曲者成田為三の代表曲「浜辺の歌」をはじめとする合唱曲を披露し、多くの聴衆に感動を与えました。

公民館関係

11月6日、北秋田市花いっぱい運動推進協議会の花だんコンクールの表彰式が行われ、応募27団体・個人の中から、団体の部は鷹巣中央小学校が、家庭の部は春日幸子さんが市長賞に選ばれ表彰を受けました。また、鷹巣中央小学校は全県花だんコンクールにおいても特別優秀賞を受賞し、第44回全国花いっぱいコンクールに秋田県花いっぱい運動の会から推薦を受け参加します。

10月20日坊沢公民館の地区文化祭をはじめ、11月10・11日は阿仁公民館の文化交流のつどい、11月23日には沢口公民館のワイワイ文化祭など地区住民の創意工夫による手づくりミニ文化祭が開催され、日ごろの学習成果の発表や郷土芸能の披露など、学びの交流を深めました。

国体推進室関係

第62回国民体育大会秋田わか杉国体は、9月29日から10月9日までの11日間、秋田市を主会場に開催され、秋田県が天皇杯、皇后杯を獲得しました。

北秋田市では、前期開催の山岳競技が9月30日から10月2日まで森吉山特設コース及び森吉スポーツ公園で開催され、秋田県が総合優勝を果たしました。特に縦走競技に出場した吉田麻衣子選手（川井出身）は、成年女子で優勝し総合優勝に貢献しました。

後期開催競技のアーチェリー競技は、10月5日から7日まで、阿仁吉田特設アーチェリー競技場で開催され、秋田県は天皇杯17位でした。バレーボール競技は、10月5日から8日まで、鷹巣体育館で開催され、秋田県チームのTDK（にかほ市）が初優勝し、秋田県の総合優勝に大きく貢献しました。フェンシング競技は、10月5日から9日まで合川体育館で開催され、秋田県は総合4位でしたが、少年男子フルーレで合川高校の松岡慧選手の健闘もあり秋田県が優勝しました。

大会期間中の競技会参加者は、次のとおりとなっております。

(単位：人)

競 技 名	大会関係者	観 覧 者	合 計
山 岳 競 技	730	3,700	4,430
アーチェリー競技	1,530	1,800	3,330
バレーボール競技	1,470	7,740	9,210
フェンシング競技	432	5,183	5,615
計	4,162	18,423	22,585

宿泊者数は、営業施設及び民泊で選手・監督・役員を含め、山岳競技が 562 人、アーチェリー競技が 394 人(うち民泊 112 人)、バレーボール競技が 166 人、フェンシング競技が 491 人(うち民泊 346 人)、合計 1,613 人となっております。国体弁当関係では、選手・監督・役員等で、会期中に 9,651 食、その他 166 食を購入しています。民泊については、心温まるもてなしに選手・監督から「今までになく最高です。」との讃辞を戴きました。応援については、小学生・中学生の計画応援のほか、市民の観戦者も多く各会場とも満員状態であり、選手・監督は感激していました。

大会関係者のご協力を得、今国体を成功裏に終えることができました。

